

第8回社会貢献大賞審査結果について

平成17年から会員の行った優れた社会貢献事業を顕彰する「社会貢献大賞」を実施し、マスコミ始め内外に多くの感動と反響を与えてきた。第8回の「社会貢献大賞」については、平成24年1月から12月までの一年間に行った社会貢献活動を対象として、都府県方面遊協が実施した事業のほか、規模は小さくとも地域への貢献度の高い支部組合や組合員ホールが実施した事業を、事業の実施主体ごとに募集した。

1. 募集結果

2月末日に申請をメ切った結果、30都府県方面遊協から75件の申請があり、内訳は、都府県方面遊協が実施したもの28件、支部組合が実施したもの15件、組合員ホールが実施したもの32件であった。昨年は27都府県方面遊協から、実施主体別に、都府県方面遊協28件、支部組合17件、組合員ホール28件、合計で73件の申請であり、昨年とほぼ同程度であったといえる。

2. 審査結果

3月27日に常任幹事による第一次審査を経て、4月17日に「社会貢献活動審査委員会」を開催し、企画の独創性、実施効果、継続性、地域からの期待度などをもとに、委員会で議論、審査した。

その結果、第8回社会貢献大賞に神奈川県遊技場協同組合の「社会的弱者への思いやり特別支援年・5年」事業に決定したほか、合計14の事業を表彰することとした。

審査結果と顕彰事業の詳しい事業内容は、この「社会貢献活動年間報告書」に記載されているとおりである。なお、結果的に顕彰には至らなかったものの、高く評価され最終審査にノミネートされた事業は、次のとおりである。

都府県方面部門

- 新潟県遊技業協同組合
「地域福祉サービス支援(老人福祉施設への送迎用福祉車両整備助成)」事業
- 愛知県遊技業協同組合
「地域における社会福祉等の向上を目的とした継続的資金支援(30年)」事業
- 滋賀県遊技業協同組合
「社会福祉事業者に対する福祉車両及び滋賀県防犯協会への青色回転灯付防犯パトロールカーの贈呈」事業
- 兵庫県遊技業協同組合
「届けよう！養護児童に笑顔と元気と思い出づくり大作戦」事業

支部組合部門

- 青森県遊技業協同組合 上十三・下北支部
「小学校に対する防犯カメラの贈呈」事業
- 大阪府遊技業協同組合 四条畷遊技業組合
「弱者支援及び不審者侵入による学童の被害防止活動事業」
- 岡山県遊技業協同組合 岡山支部
「立体駐車場を災害時に避難場所として指定の地域安全活動」事業

- 岡山県遊技業協同組合 総社支部
「社会福祉活動及び防犯活動支援」事業

組合員ホール部門

- 秋田県遊技業協同組合 株式会社燦英
「会社創立60周年記念事業
『東日本大震災被災児童支援活動』」事業
- 神奈川県遊技場協同組合 パラッツォ東京プラザグループ
「人と多様な生物が暮らせる森づくり」事業
- 山口県遊技業協同組合 株式会社オーパス
「社会福祉助成金贈呈」事業

以上